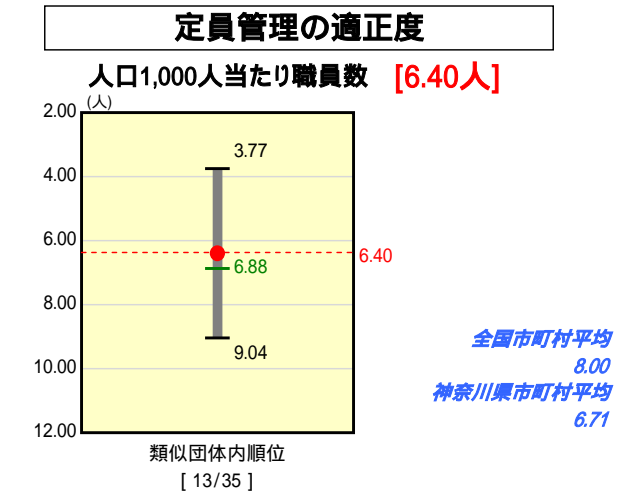
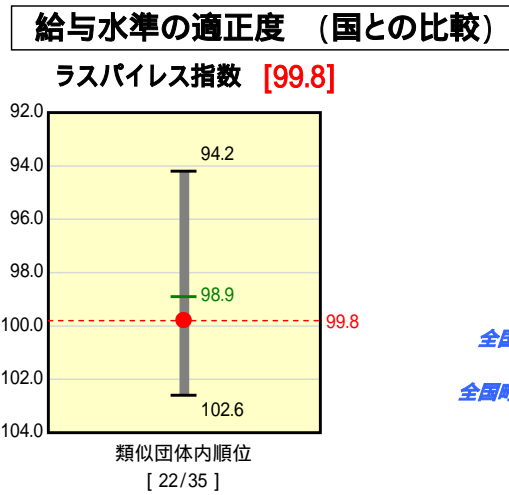
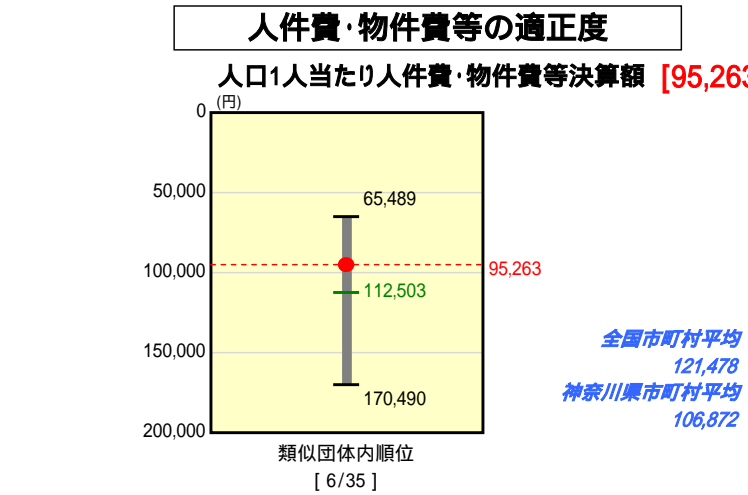
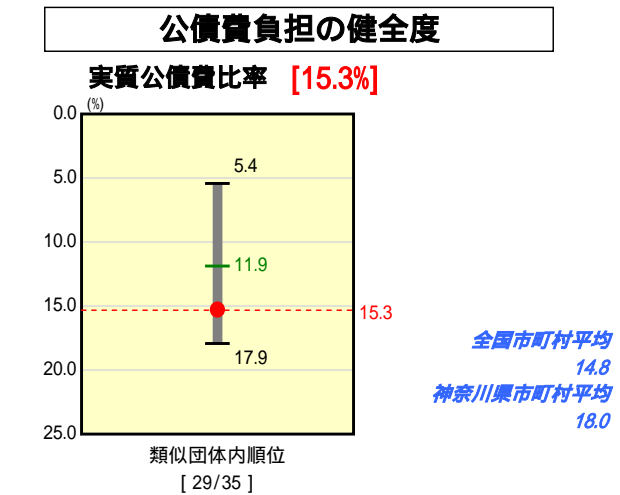
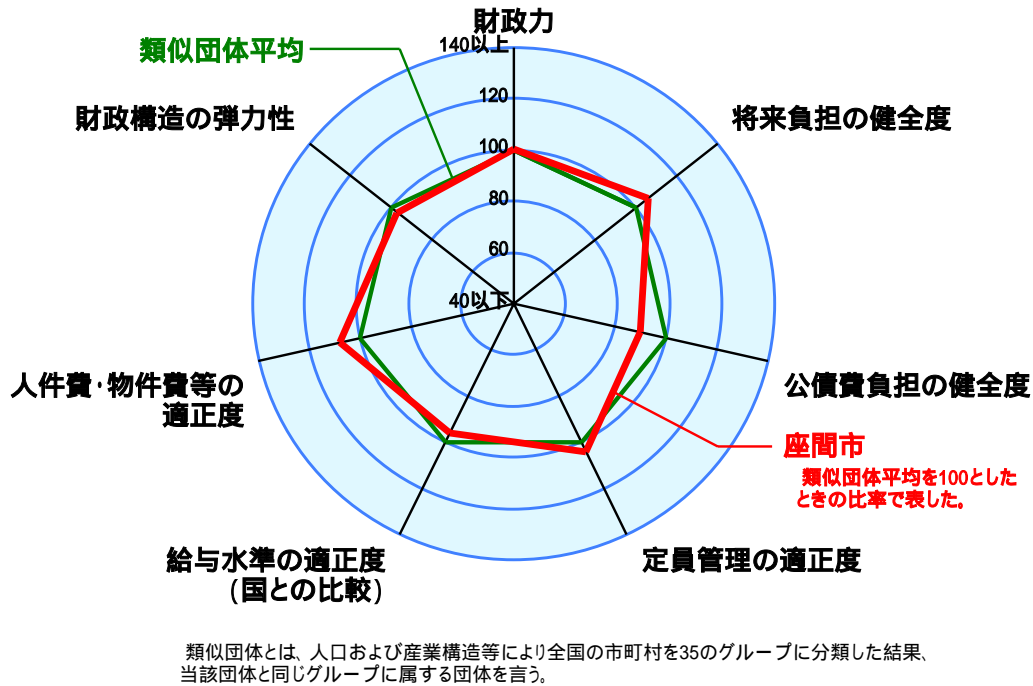
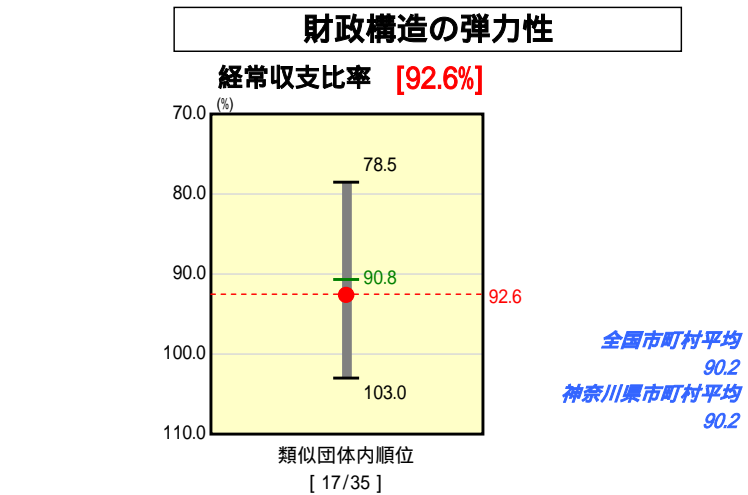
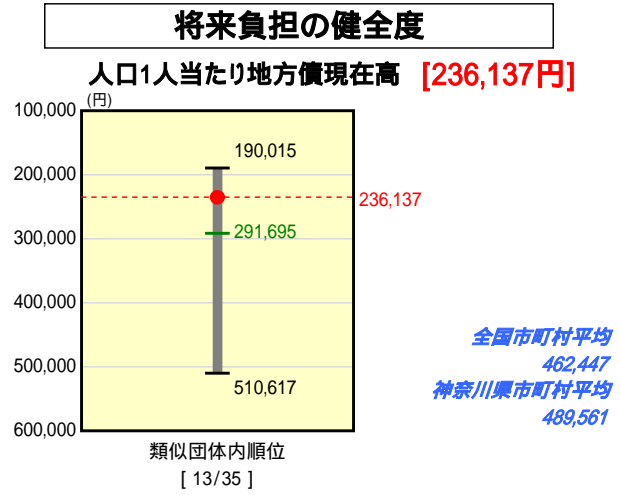
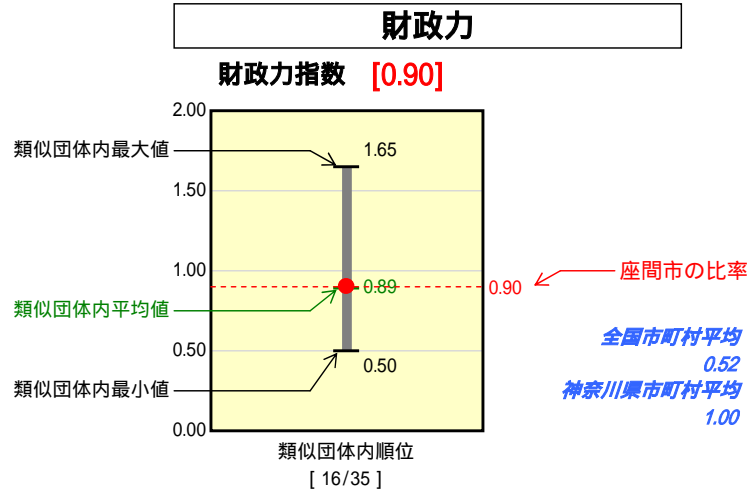


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

神奈川県 座間市

人口	126,170	人(H18.3.31現在)
面積	17.58	km ²
歳入総額	31,518,449	千円
歳出総額	30,425,270	千円
実質収支	1,067,077	千円



分析欄

【財政力指数】前年度を0.03ポイント上回り、類似団体平均を0.01ポイント上回っている。これは三位一体の改革に伴う個人の所得課税に係る国から地方公共団体への本格的税源移譲を行うまでの間(平成16年度から平成18年度)の措置として交付された所得譲与税の増が大きな要因である。これまで本市では、平成11年度に市税等収納対策特別委員会を設置し、市税等収入確保に努めるとともに、第三次行政改革大綱実行計画(平成17年度)に基づき徹底した事務事業の見直しを行ってきた。今後は第四次行政改革大綱実行計画(平成18年度から平成20年度)に基づき、経費削減に今後一層努める。

【経常収支比率】前年度より2.1ポイント上昇(悪化)し、類似団体平均より1.8ポイント、県市町村平均である90.2より2.4ポイントとそれぞれ大きく上回り、硬直化傾向を示している。この要因は市税収入に対して支出である扶助費が相対的に高いことにある。そのため、市税等収入確保に努め、徹底した事務事業の見直しによる経費削減に今後一層努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】人件費、物件費等の人口一人当たり決算額については、全国平均、類似団体平均及び県市町村平均より下回っている。今後は民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減に一層努める。

【人口1人当たり地方債現在高】類似団体、全国及び県下平均より低い値となっている。核づくりのピークであった平成8年度の318,750円に対し、平成17年度には236,137円と82,613円減少した。今後、一層の債務解消に努める。

【実質公債費比率】県下市町村平均を下回るものの全国平均及び類似団体平均をそれぞれ上回っている。これは平成3年度から平成7年度までの起債全体の約42%に当たる「市の核づくり」(庁舎、文化会館、健康センター等)に伴うものである。核づくり後は、一層の起債抑制策を図る中で、起債に大きく頼ることのない、健全財政運営に努めている。今後一層の財政健全化に努めたい。

【人口1,000人当たり職員数】事務事業の見直し、組織の合理化等により定員管理の適正化に努める

【ラスパイレス指数】前年度を0.50ポイント下回ったものの、全国平均を上回っている。その主起因は国との給与体系の相違にあるので、給与構造改革等を実施することにより、より一層人件費の縮減に努める。